

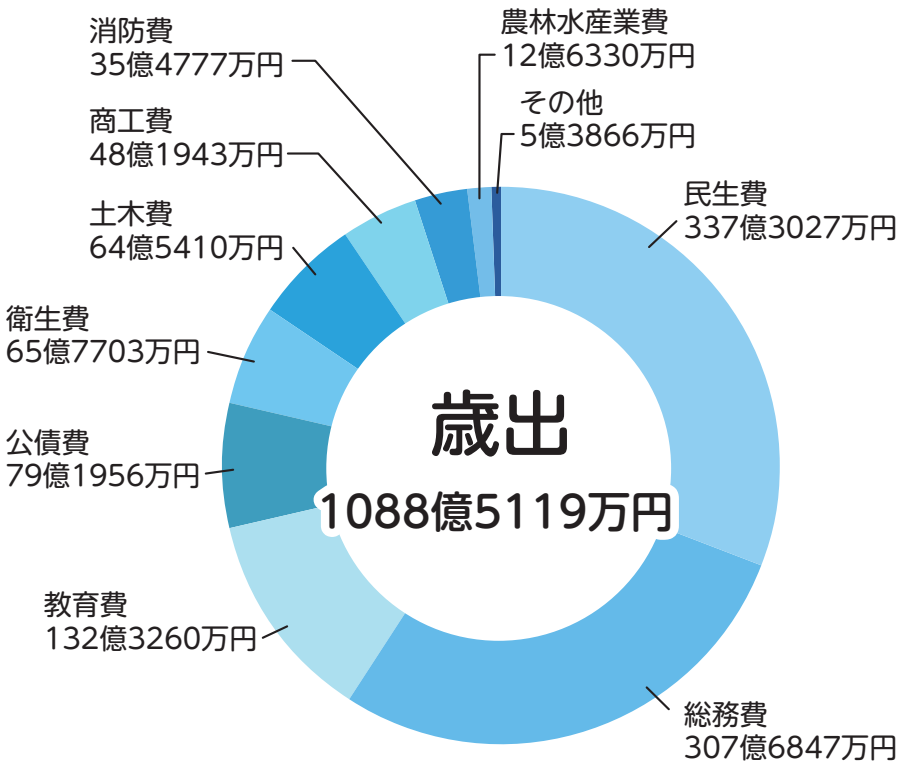
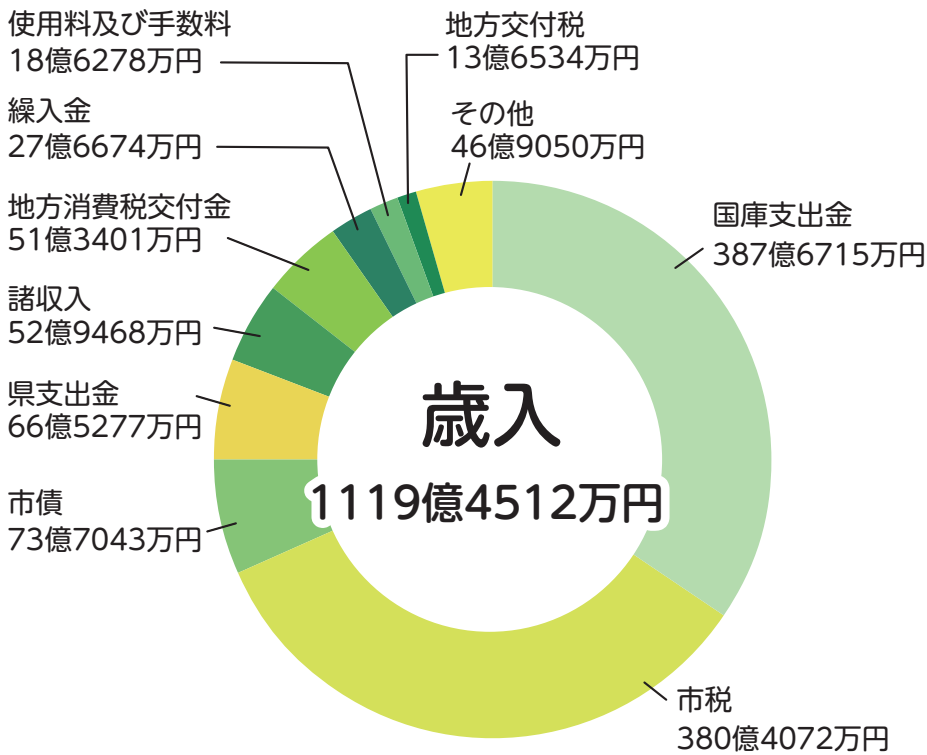
令和2年度

決算のお知らせ

財政課 ☎0276-47-1816

一般会計決算

歳入歳出差引額は30億9393万円 うち20億円を基金に蓄え、残りを3年度予算として使っています。
※金額の端数は整理してあります。



主な取り組み

ハード事業

- 「北の杜学園」施設整備事業
- 運動公園陸上競技場建設事業
- 尾島体育館改築事業

ソフト事業

- プレミアム金券発行事業、飲食店応援食事券発行事業
- 第2子子育て支援事業、第3子以降子育て支援事業
- GIGAスクール構想関連事業



運動公園陸上競技場



プレミアム金券販売

目的税の使途

都市計画税 (14億7715万円)	街路整備、公園整備、下水道、市街地開発の都市計画事業など33億7810万円に充てました(充当率43.7%)
入湯税 (134万円)	観光施設整備事業2537万円および観光振興事業1583万円などに充てました(充当率0.5%)
森林環境譲与税 (1854万円)	森林環境譲与税基金に全額積み立て、道の駅管理経費の備品購入費(69万1000円)について基金から取り崩し充てました

特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	207億7966万円	203億5351万円
住宅新築資金等貸付	1571万円	1416万円
後期高齢者医療	25億4558万円	25億3032万円
八王子山墓園	4137万円	2559万円
介護保険	173億1915万円	166億7114万円
太陽光発電事業	2億9930万円	2億8164万円

決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率を公表します

いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果となっています。

健全化判断比率 (単位:%)

区分	2年度	元年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	—	—	11.34	20.00
② 連結実質赤字比率	—	—	16.34	30.00
③ 実質公債費比率	5.4	5.4	25.0	35.0
④ 将来負担比率	45.1	23.4	350.0	

※実質収支が黒字であるため、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率は「—」です。
<参考>実質黒字の程度は、2年度:①4.87%の黒字、②9.29%の黒字
元年度:①4.26%の黒字、②7.52%の黒字

資金不足比率 (単位:%)

区分	2年度	元年度	経営健全化基準
下水道事業等会計	—	—	20.0
太陽光発電事業特別会計	—	—	

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「—」です。

比率などの概要

実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(※)に対する比率 (※)自治体が通常水準の行政を行う上で必要な一般財源の額
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の度合いを表す比率
早期健全化基準	市町村の財政規模などにより設定された数値。基準を超えた場合は「財政健全化計画」の策定が必要
財政再生基準	市町村、県ごとに設定された数値。基準を超えた場合は「財政再生計画」の策定が必要

広報おおたの
入手方法

折り込み配布＝朝日・産経・上毛・東京・日経・毎日・読売新聞、タウンぐんま 配置＝市役所各庁舎や行政センターなどの市の施設、市内のファミリーマート・セブンイレブン・群馬銀行・桐生信用金庫・アイオー信用金庫・郵便局・J A・イオンモール太田・とりせん・太田理容組合加盟店(一部除く)